

6年生 日光移動教室報告(6月3日～6日)

1. 自分たちで自分たちの生活をつくろう！

6年生は、最高学年になった4月からの2か月間、生活団や委員会、クラブ、通学ブロックなど、様々な場面で、『下級生のために』『学校のために』と頑張ってきました。「これまでの伝統を絶やすわけにはいかない」「去年の6年生はどうやっていたっけ…」と、試行錯誤の連続で、活動を終えて教室に戻ると、「うまくいった」と満足気な子や、「下級生がまとまらない」と落胆気味な子が見られ、自分の6年生ぶりに一喜一憂する日々を送ってきました。その中では、我慢したり、頑張ったり、6年生どうしで協力して乗り越えたりすることを学んできたのです。

しかし、この日光移動教室は、下級生のためでも学校のためでもなく、自分たちのために過ごす4日間です。自分たちで、自分たちが満足できる生活をつくってほしいという願いをもって出発しました。

2. 足尾銅山見学(1日目)

学校を出発したバスは、一路日光を目指します。ずっと高速道路ですので、都内を抜けると景色もそれほど変化が見られません。「えっ、もう日光なの？」と、2時間ほどで日光市内に入りました。

宿泊地の奥日光に向かう前に寄り道をして、中禅寺湖と山を一つ隔てた足尾の町へ立ち寄りしました。そこは、日本の公害第一号とも言われる足尾銅山鉍毒事件のあった地です。公害を起こしてしまった事実は消すことはできませんが、当時の日本の国がおかれていた状態や銅山によって生活を送っていた人々の立場、公害の被害にあった人々やそれを糾弾しようとした人々の立場など、様々な視点からこの事件を見ることで、それぞれの立場の人々の気持ちに思いをはせてほしいと考えていました。



当時の坑道を利用した『足尾銅山観光』と、地域の人々が立ち上げた『足尾歴史館』を見学することで、当時の最新技術に触れ、足尾の町を愛する人々に触れ、今なお当時の

名残りが見られる街並みを眺めてきました。

さらに、日本三大名瀑の一つである華厳の滝にも立ち寄りしました。エレベーターで100mほど下ると、冷たい空気が一気に押し寄せます。滝の水しぶきを浴びながらの記念撮影、落差100mの水の迫力を感じました。

宿では、硫黄のにおいがプンプンするお風呂と、真心のこもった美味しい食事が待っていました。



2. 日光フリータイム学習(2日目)

2日目は、日光フリータイム学習です。子どもたちは、下の9つのグループに分かれて、現地の先生方に教えていただきながら、各自のテーマを追究してきました。大きな天気の影響もなく、すべてのグループが予定通りの活動を行うことができました。

今年のフリータイム学習テーマ(グループ)

- | | | | |
|-------------|-------------|-----|-----|
| ○伝統工芸「日光下駄」 | ○伝統工芸「日光彫り」 | ○魚 | ○動物 |
| ○歴史 | ○民話 | ○岩石 | ○鳥 |

このフリータイム学習では、何より体験的に学ぶことを大切にしています。自分の目で見て、体験して確かめたからこそ、自信をもって、この後行われるフリータイム学習発表会に臨めるのだと思います。

普段ではできない体験をさせていただいたり、一般の観光では立ち入ることができない場所に連れて行っていただいたり、見過ごしてしまいそうな歴史や動物の痕跡に目を留めさせていただいたり、そ



の道のプロの方から教えていただくことに、一つひとつの重みを感じ、自分のものにしようとする子どもたちの真剣な姿が素敵でした。

またどの子ども、講師の先生方が、日光のことを心から愛していらっしやることを、肌で感じ取っていたようです。好きにならなければ、その道のプロにはなれ



ないのかもしれませんが、一人ひとりが自分の生き方を考える上で見つめてほしい、素敵な大人の姿が、そこにあったような気がします。

3. 日光クロスカントリー(3日目)

朝食と昼食の2食を持って、朝7時に宿を出発です。朝のすがすがしい空気を吸って歩き始めました。8つのグループに分かれ、湯の湖・戦場ヶ原・中禅寺湖湖畔のエリア内の、あらかじめ自分たちで決めたコースを、地図を頼りに歩くのです。

時折小雨がぱらつく天気でしたが、林の中を歩いているぶんには雨の影響はありません。むしろ、8時間以上になる活動ですから、炎天下で実施したことを考えると、天気が子どもたちの味方をしてくれたとも思えました。



クロスカントリー長の道案内や時間管理に従いながら、険しい道はお互いに声をかけ合ったり、歌を歌ったりしながら歩きました。奥日光の大自然の中、蔓でターザンごっこをしたり、猿や鹿に出会ったり、昨年みんなで考えたクリンソウの群生を見たりしたグループもありました。

さすがに最後はみんな疲れた様子でしたが、その疲労感と仲間と歩ききった達成感は、この移動教室の大きな成果の一つとして感じることができたと思います。



この日の夜は和楽会です。学年全員で過ごすことができる最後の夜です。レク長12人が力を合わせて会を企画しました。少ない準備期間にも関わらず、みんなで盛り上がる会ができました。

会の最後に気持ちを合わせて歌った学年の歌、『ゴールめざして』では、自分もこの学年に属している喜びを感じることができるよう、大合唱でした。



4. 二社一寺見学(4日目)

世界遺産に登録されている「輪王寺」と「東照宮」を見学しました。



当初は、フリータイム学習の歴史グループの子どもたちがガイド役を務める予定でしたが、あいにくの雨でしたので、バスの中で、見学ポイントや当時の裏話などを聞いてからの見学となりました。

傘をさしての見学でしたが、それぞれの見学ポイントでは、歴史グループの子が近くの友達にいろいろな話をしてあげている様子が見られました。自分が学んできたことを伝えたいんだな、フリータイム学習でいい経験をしてきたんだな、ということがわかりました。



5. さいごに

子どもたちは、学年で行く最後の移動教室を終えました。一人ひとりが、生活班やフリータイムの班、クロスカントリーの班に属し、それぞれの長を中心にグループを作り、見事に生活を作り上げたのです。

もちろん、意識のモチ方は子どもによって様々でした。しかし、「自分たちで生活をつくる」とはどのようなことなのか、みんなと生活しながら、友達の姿を見ながら次第に理解を深め、その価値や意味に気が付いていく様子がよくわかりました。自分の行動を見つめ、お互いの行動を律し合い、みるみる変わっていく子どもたちの姿がそこにあっただのです。

この子達と4日間の生活を共にすることで、私たち大人も、大変素敵な時間を過ごすことができたことを、子どもたちに感謝しています。